

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 岡山中仙道教室

保護者等数(児童数)23(26) 回収数 20 割合 86 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19件	1件	件	件	・もう少し運動ができるといいなと思うので、少し狭いかなと感じます。	・整理整頓を行い、スペースの確保を行います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17件	3件	件	件	・言語療法士や作業療法士、心理士等の資格のある職員がいると、より安心です。 ・専門性を評価する材料がない、どう判断すれば良いかわからない。	・配置基準を順守し運営していきます。 ・研修等から専門的知識を高めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19件	件	件	1件		・段差があるトイレや洗面所は踏み台を用意しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20件	件	件	件		・朝晩の掃除と月に一度の掃除に分けて清潔に保てるようにしています。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20件	件	件	件		・アセスメントシートから支援計画を立て、職員で話し合い作成していきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19件	1件	件	件		・アセスメントシートからガイドラインに沿って支援計画を立てるようしています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19件	件	件	1件		・支援計画の内容を職員間で共有し、支援を行っています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17件	2件	件	1件		・お子さまの様子から職員で話し合いプログラムの見直しを行います。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11件	2件	3件	4件	・幼稚園の様子を見に行ってもらえるが、障害のない子どもと活動したことはないので、機会があれば嬉しいです。	・今年度は法人内の保育園との交流を11月に行いました。来年度も定期的の実施できたらと思います。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20件	件	件	件		・契約時に詳しくお話をさせていただきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20件	件	件	件		・読み合わせ時には支援計画を見せながら内容を確認していただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	14件	3件	件	3件		・必要に応じて「できたよカード」を利用して行なっています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18件	件	1件	1件		・送迎時に5分間のフィードバックを行ったり、せらびーの一とを利用して保護者の方とお子さまの様子を共有していきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18件	1件	1件	件		・6ヶ月に1回以上の面談と必要に応じて事業所内相談を行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15件	2件	1件	2件		・今年度は10月に手紙を配布し、11月に保護者会を開催予定でしたが参加希望の方がいなかった為開催できませんでした。内容を考え皆さんに参加していただけるようにしていきたいと思っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18件	件	1件	1件		・質問や相談があった場合、職員間で共有し迅速に対応できるようにしています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20件	件	件	件		・保護者の方にはフィードバック時に使った教材を見せたりわかりやすい言葉で伝えさせてもらっています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19件	件	件	1件	・Instagramで活動を見れるのが嬉しいです。	・「てらびあ通信」を登録していただいているメールに毎月配信しています。 ・Instagramや発達ナビりたりこにも教室の様子を定期的に載せています。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	20件	件	件	件		・年に一度は個人情報保護研修を行っています。 ・個人名が記入されているものについてはシュレッダーで処分しています。	

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20件	件	件	件		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に避難場所等に関してお話させていただいています。 ・避難訓練は2.3カ月に一度、火災や地震、不審者等を設定して、お子さま参加の上訓練を行い反省をして見直しを行っています。 ・年に一度は避難場所までの経路確認を行っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19件	1件	件	件		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16件	3件	1件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたくない日もある。・行き流りもせず楽しく通えています。 ・「今日はこれした！」と毎回話を聞くのが楽しみです。親子の会話のためになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの様子を見ながらプログラムの見直しを行ったり、時間配分に気をつけて支援していきます。 ・保護者様にはプログラム以外の様子もしっかり伝えていくようにします。
	23	事業所の支援に満足しているか	19件	1件	件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことも粘り強く教えてくださっているのが助かっています。 ・毎回楽しく過ごさせています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。引き続き、お子さまや保護者様に寄り添った支援を心掛けていきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 6月 20日

事業所名 岡山中山道教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5件	件	・個室と大部屋と適切なスペースがあります。	・今の環境を活かした支援内容を工夫していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	5件	件	・基本1対1で利用児童につけるように配置しています。 ・欠勤があると他の職員が対応しています。	・配置基準を守って運営する。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5件	件	・視覚支援ボード等活用しています。 ・必要な物以外は置かないようにしています。	・視覚支援の活用。 ・狭い空間(個室)では怪我のないように気をつけていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5件	件	・大部屋は活動がしやすいように、スペースを確保しています。 ・毎日の掃除や月に一度の掃除等決めて清潔に保てるようにしています。	・活動前には温度や湿度を確認し調節を行う。 ・引き続き定期的な清掃を行い、清潔な状態が保てるようにしていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件	件	・毎月、教室目標を職員で話し合い決め、振り返りも行っていきます。	・定期的に職員会議を行い、改善点等話し合いを行っていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件	件	・定期的にアンケートを取り、保護者の方からの意見を職員間で共有、改善をはかっています。	・年に一度実施し、保護者評価を真摯に受け止め業務改善を行っていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5件	件	・事業所の本部HPにアクセスすると、閲覧できるようにしています。 ・玄関ドアのお知らせのところに張り出しを行いました。	・公表後は保護者様にわかりやすいように伝えていきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	5件	・未実施	・必要に応じて検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件	件	・定期的に研修を開催しています。 ・本部開催の「てらぼけLABO」に参加し支援について勉強しています。	・本部主催の「てらぼけLABO」での研修を積極的に受けていきます。 外部研修で学んだことは職員研修で共有していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5件	件	・6か月に1度は必ず面談を行い、アセスメントをとり支援計画を更新しています。	・6か月に1回以上面談を行い、客観的に分析を行うようにしていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5件	件	・本部のツールを利用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5件	件	・アセスメントシート、保護者様のお聞き取りからお子さまに必要な支援を設定させていただいています。	・保護者様のお話を詳しくお聞き取りし、支援計画に反映できるようにしていきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5件	件	・会議で職員で共有しています。	・一人一人の支援目標がわかりやすいように、職員間で共有していきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5件	件	・一人一人に合ったプログラムを話し合っています。	・お子さまの様子を共有し、職員間で話し合いながら進めています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5件	件	・優先順位を考慮しつつプログラムを組んでいます。 ・小集団活動は週ごとに何をするか決めて行っている。 ・その都度見直ししたり、教材を調べて取り入れています。	・職員間で話し合いながら進めています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5件	件	・お子さまの状況に応じて集団活動と個別活動を組み合わせ支援を行っています。	・お子さまの状況を把握し、集団活動と個別活動を組み合わせる計画を作成していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5件	件	・終礼や準備の時に様子や支援内容を共有し、引継ぎを行っています。 ・データが統一されるように取り組みを共有しています。	・予定表を活用して確認をしていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5件	件	・セラピー全体を通して気になるところやできたことを伝え、共有しています。 ・終礼で振り返り、改善点などを共有しています。	・毎日終礼を行い、その日に支援について伝達したり、支援内容を共有していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5件	件	・プログラムをデータに残し、引継ぎを行っています。 ・細かいことも記録しています。	・データや引継ぎ用紙を利用して職員間で共有しやすいようにしていく。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5件	件	・6か月に1度は面談を必ず行い、お聞き取りをして必要に応じて見直しを行っています。	・支援計画更新時期のぎりぎりにならないように、早めに保護者様に案内をし面談を行っていきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5件	件	・セルフプランで利用されている方が多い為、サービス担当者会議には参加していません。	・必要に応じて相談支援事業所の利用をすすめています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5件	件	・家庭連携を行い、情報を共有しています。	・家庭連携を利用して、利用児童が通っている園に訪問を行い、様子を共有していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	5件	・該当していません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	5件	・該当していません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	件	5件		・ご希望があれば移行支援を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	件	5件		・ご希望があれば移行支援を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件	件	・児童発達支援センター等が開催する研修に積極的に参加しています。	・市からの通知の研修には積極的に参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5件	件	・法人内の保育園との交流を今年度初めて行った。	・来年度以降も回数を増やしていけるようにしていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5件	件	・2か月に一度開催される子ども部会に管理者が参加し、部会内容を職員に共有しています。	・積極的に参加し、他事業所の方と連携を行っていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件	件	・セラピーノートに気になる様子を書いてもらったり、お迎え時のフィードバックで共通理解を心がけています。	・送迎時に様子を共有したり、セラピーノートを活用していく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5件	件	・今年度は「参観ウィーク」を企画し、保護者の方にリズムウォーク等に体験してもらい、強化の仕方を伝えさせていただきました。 「できたよカード」を作成し、スモールステップで支援しています。	・来年度も「参観ウィーク」を企画し、保護者の方にも参加できる活動を行っていく。 ・必要に応じて「できたよカード」の提案を行っていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5件	件	・契約時に時間をとってすべての書類を読み確認してもらっています。	・契約時に丁寧に説明するように行っていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5件	件	・支援計画ができたら、保護者の方に確認してもらっています。気になる点があればお答えしています。	・支援内容はわかりやすい表現にし、保護者様に説明をしていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5件	件	・フィードバック時に加え、面談等相談する機会を作っています。	・保護者様が話しやすい雰囲気を作るように心がけていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5件	件	・今年度も11月に開催予定で出欠をとらせてもらいました。しかし、参加者がいなかったため開催できていません。	・内容の見直しを行い、保護者様が参加しやすいようにしていきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5件	件	・相談や申し入れがあるとその都度なるべく迅速な対応に努めています。	・相談内容によって事業所内相談の案内を行っていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件	件	・Instagramやリタリコ、てらびあ通信で様子を伝えています。 ・玄関ドアに今月の予定を掲示しています。	・メール配信していることを伝えたり、Instagram等も見えていただけるように案内を行っていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5件	件	・個人名が入っている書類は、鍵付きの棚にしまっています。また、必ずシュレッダーにかけて処分しています。	・通信やInstagram等に使った写真に関しても適切に破壊しているか確認を行っていく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5件	件	・写真付きの資料を作成し必要に応じて使用しています。	・専門用語はわかりやすく言い直して伝えていく。 ・使った教材を見せながらフィードバックを行っていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5件	件	・招待はしていないが、戸外活動の機会を作り、地域の方にあつた時には挨拶をしています。	・戸外活動(平日Aクール限定)を行い、近隣の方にあつた時には積極的に挨拶をしていく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・2.3か月に一度、火災や地震、不審者等の避難訓練を行っている。 ・各対応マニュアルは作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を実施した時には保護者様にわかりやすいように伝えていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な想定で子どもたちも参加し訓練を行っています。 	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時のアセスメントで確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの内容を職員間で共有しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時のアセスメントで確認しています。 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあった時には記録し、職員で共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で危険箇所や状況を把握して共有していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・数回に分けて研修を行っています。 ・虐待の基本事項を確認し、職員もチェックを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画において実施時期を決めて研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について契約時にお話させていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行い、全職員が理解し共有していく。